

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	環日本海諸国語IVA(中国語)
科目基礎情報					
科目番号	0057		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	郁文堂「中国語入門アタック25」				
担当教員	陶 佳				
到達目標					
(1)初級レベルの中国語会話を話せるように目指す。 (2)簡単な会話を聞き取れ、一言応対ができる能力を身に付ける。 (3)聞いた単語を漢字とピンインを書ける能力を身に付ける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	会話を聞き取れ、正確に一言応対ができる。		会話を聞き取れ、一言応対がほぼできる。		会話を聞き取れなく、一言応対がほぼできない。
評価項目2	初級レベルの文法構造を理解し、正確に中文和訳と和文中訳ができる。		初級レベルの文法構造を殆ど理解し中文和訳と和文中訳がほぼできる。		初級レベルの文法構造が殆ど理解できなく、中文和訳と和文中訳ができない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	学習目標（授業の狙い） (1)初級レベル会話を習得する。 (2)簡単な会話を聞き取れ、一言応対ができる能力を身に付ける。 (3)聞いた単語を漢字とピンインを書ける能力を身に付ける。				
授業の進め方・方法	・ 予習，復習，課題を前提とし，講義を中心に進める。 ・ 学生の会話の完成度を確認しながら講義を進める。 ・ 会話の練習，小テストや発表を実施する。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと （授業外学習・事前）授業内容を予習しておく。 （授業外学習・事後）授業内容に関する課題を解く。				
注意点	＜追認試験の評価方法と評価基準＞ 評価が50点に満たさない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあては、その評価を50点とする。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容		週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	①ガイダンス ②第1課の単語、文法と会話文の学習		①シラバスの説明 ②中国語の基本的な語順と判断文等の文法要点を理解できる ③会話練習により簡単な自己紹介を話せる
		2週	①第2課の単語、文法と会話文の学習 ②補充会話「我要一个5号套餐」の学習		①形容詞述語文等の文法要点を理解できる②中国のお金の言い方と聞き方を分かる ③会話練習により簡単な買い物会話を話せる
		3週	①第3課の単語、文法と会話文の学習 会話「一緒に街行きませんか」の学習		②補充 ①動詞述語文等の文法要点を理解できる ②所有,存在と前置詞“在”の表現ができる ③会話練習により家族の紹介ができる
		4週	①小テスト「我的黄金周」の発表 ②スキット「你哪儿不舒服？」の学習 ③第4課の単語、文法と会話文の学習		①スキット発表により習った文法を使い、長い休み中の出来事を中国語で表現できる②主述述語文等の文法要点を理解できる
		5週	①第4課の復習とドリルの確認 1「你哪儿不舒服？」の学習 ②補充会話 ③補充会話2「你最近忙不忙？」の学習		①反復疑問文と疑問詞疑問文を理解できる②スキット「你最近怎么样？」の発表により最近体、勉強と部活の様子を表現できる
		6週	①第5課の単語、文法と会話文の学習 ②第6課単語、文法と会話文の学習		①北京気候の特徴を覚える上、富山の四季の特徴と各季節の中楽しめることを会話表現できる。②時点と時量を正しく使える。
		7週	①筆記試験とリスニングテスト ②確認問題の会話練習		①第1課から第6課までの講義内容について、筆記とリスニング試験を実施する。②習った基本表現を正しく表現できる
		8週	中間試験 会話の口述試験		1回から7回までの講義内容について、中間試験と会話の口述試験を実施する。
	2ndQ	9週	成績評価・確認		成績確認
		10週	①第7課の単語、文法と会話文の学習 会話練習		②入れ替え ①“了”の用法を正しく理解できる。②会話練習により継続的な状態を示す出来事を正しく会話表現できる
		11週	①第8課の単語、文法と会話文の学習 会話練習		②入れ替え ①様態と結果補語などを正しく理解できる②会話練習により身近な出来事を様態補語と結果補語で正しく表現できる。
		12週	①小テスト 単語、文法と会話文の学習 ②第9課の ③スキット発表		①可能を表す助動詞と可能補語を正しく理解できる。②自分の趣味と部活について習った文法を使い、正しく会話表現できる

		13週	①第10課の単語、文法と会話文の学習 ②スキットの練習と発表	①数量補語と経験表現を正しく理解できる②自分の旅行経験とその場所の特徴を中国語で正しく会話表現できる。
		14週	①筆記試験とリスニングテスト ②確認問題の会話練習	①第7課から第10課までの講義内容について、筆記とリスニング試験を実施する。 ②習った4つの補語を正しく表現できる
		15週	期末試験 話の口述試験	主に9回から14回までの講義内容について、期末試験の口述試験を実施する。 (1)期末試験の成績確認(2)授業評価アンケート
		16週	成績評価・確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	定期試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0